

小・中学生に防犯ブザー貸与



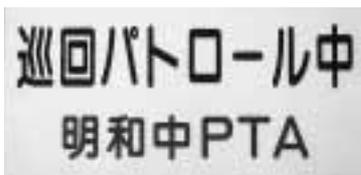
担任の先生から防犯ブザーを手渡される児童（西小）

町では、不審者と思われる犯罪事件が町内外で相次いでいることを受けて、小・中学生が少しでも安全に登下校できるよう防犯ブザーを2月4日、児童・生徒に貸与しました。

配布対象者は、小学生全員と中学生女子全員、中学生男子の希望者で、合わせて871人。防犯ブザーは、スイッチを押すか、ヒモを引き抜くと「ピコ、ピコ、ピコ」と大きな警報音が鳴り響き、非常



防犯ブザー



ステッカー
(中学校PTA)

事態を知らせることができません。町では、児童・生徒が万一来ててブザーを持つことで「子どもたちからのSOS」が素早く地域の人たちに伝わり、連携協力が得られるように貸与したものです。

また、防犯対策の一環として小・中学校の教職員やPTA会員が下校途中の児童・生徒の安全を守るため、町内の巡回パトロールを行い、被害防止対策に取り組んでいます。パトロールは、各学校とも下校時間に合わせて教職員やPTA会員数名がそれぞれ自家用車に同乗し、「巡回パトロール中」などと表示されたステッカーを車両に張り付け、通学路や危険箇所

子どもを狙った犯罪が相次いでいるなか、小・中学生が不審者からの被害に遭わないよう、家庭・学校・地域社会・行政が一体となった防犯対策の強化や、安全な町づくりにご協力ください。



車両にステッカーを張ってパトロール



明和中学校PTA
会長 影山 均さん

安全に登下校できる
ようご協力ください

不審者による犯罪事件の被害防止のため、町の配慮で小学生全員、中学生女子全員と男子の希望者に防犯ブザーを貸与していただきました。PTAでも、昨年暮れからパトロールを行っています。PTAの力だけでは十分ではありません。安全に登下校できるよう町全体で、不審者を町内に入れないような態勢づくりにご協力ください。